

みんなで盛り上げよう

北海道洞爺湖サミット

『北海道洞爺湖サミット』(G8^{エイト}サミット)が、7月7日(月)から9日(水)までの3日間、洞爺湖町において開催されます。
同サミットでは、主要8カ国の首脳が集い、地球温暖化対策など国際社会の課題が話し合われます。
今月号では、サミットとは何か、どうして開催されるのかなどをお知らせします。



サミットの概要

G8サミットとは

G8サミットとは、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシアの8カ国の首脳と欧州連合(EU)の委員長が参加して毎年開催される首脳会議で、国際社会が直面するさまざまな課題について議論されます。

狭い意味でのサミットは、『首脳会合』を意味しますが、広い意味では『首脳会合』の前に開催される『外相会合』や『財相会合』などを含めた全体をサミットと呼んでいます。

また、近年のG8サミットには、G8以外の国も参加しています。

昨年のサミット(ドイツ)では、新興諸国と言われる南アフリカ共和国やブラジル、中国、メキシコ、インドをはじめ、アフリカ諸国や国際機関が参加しています。

G8とは何の略ですか

公式な定義はありませんが、一般的に首脳会議に参加する8カ国の総

称としてのGroup of Eightを意味しています。

サミットはどのように開催されるようになったの



1970年代に入り、第1次石油危機などの諸問題に直面した先進国の間では、世界経済問題(通貨、貿易、エネルギーなど)について、首脳レベルで総合的に議論する場が必要であるとの認識が生まれました。

このような背景のもと、フランス大統領の提案により、1975年11月、パリ郊外のランブイエ城において、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアの6カ国による第1回首脳会議が開催されました。

この首脳会議の結果、世界経済問題に対応するため、先進国の首脳が集まって議論する場を持つことの重要性が認識され、各国が持ち回りで